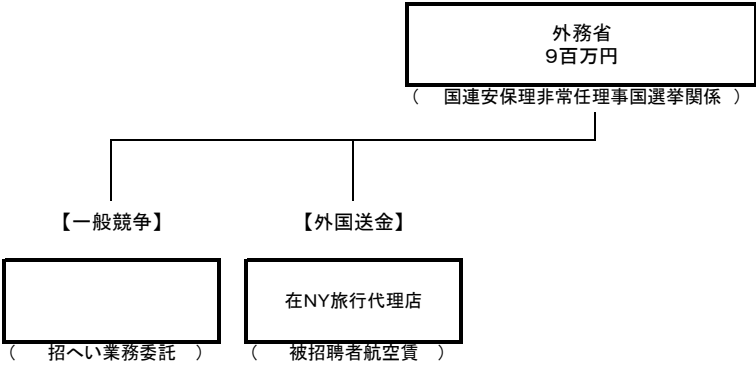


平成25年行政事業レビューシート (外務省)										
事業名	国連安保理非常任理事国選挙関係費			担当部局庁	総合外交政策局			作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度開始			担当課室	国連政策課			課長 御巫 智洋		
会計区分	一般会計			政策・施策名	Ⅱ-1-6 国連を始めとする国際機関における我が国の地位向上、望ましい国連の実現					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第一項、第二項、第三項 外務省組織令第34条			関係する計画、通知等	第67回国連総会における野田総理一般討論演説及び第183回国会における岸田外務大臣外交演説					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	ニューヨークの各国国連常駐代表を日本に招聘し、国連安全保障理事会非常任理事国選挙における、我が国の立場につき理解を得、支持要請を確実なものとする。									
事業概要 (5行程度以内。別添可)	我が国の常任理事国入りを含む国連安保理改革の実現は、我が国の外交政策上の重要な課題の一つであるが、右改革が実現するまでの間、出来るだけ頻繁に非常任理事国としての席を占め、国際の平和と安全に貢献することを重視している。右選挙は我が国が最も重視している絶対に負けれない選挙であり、2015年秋に行われる我が国立候補に関する選挙では、対立候補との間で厳しい選挙戦を強いられている。かかる観点から、右選挙において実際に投票するニューヨークの各国国連常駐代表を招へいし、我が国の外交政策に関する理解を得るとともに、我が国の歴史、文化等への造詣を深め、支持要請を確実なものとすることを目指す。									
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☐ その他									
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求			
		補正予算	-	-	-	9				
		繰越し等	-	-	-	-				
		計	-	-	-	9				
	執行額		-	-	-					
	執行率(%)		-	-	-					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標				単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)	
	(成果目標)ニューヨークの各国国連常駐代表を日本に招聘し、国連安全保障理事会非常任理事国選挙における、支持要請を確実なものとする。 (成果実績)招へい者数			成果実績	人	-	-	-	6	
				達成度	%	-	-	-		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	(活動指標)平成25年度において招へい事業を1回実施する。 (活動実績)平成25年度よりの新規事業			活動実績 (当初見込み)	招へい事業	- (-)	- (-)	- (-)	- (1)	
単位当たりコスト	(9,320千円/回)			算出根拠	招へい事業実施経費(9,320千円)/実施回数(1回)					
平成25・26年度予算内訳	費目		25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由					
	招へい費		9							
	会議費		0.3							
	職員旅費		0.01							
	計		9							

事業所管部局による点検						
	項 目		評 価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	優先度は高く、また、国が実施すべき事業であり、地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではない。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的（成果目標）の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	支出先は単価契約業者を除き、競争性により選定する。また、見積り合わせを実施し、コストの削減に努める。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）		—			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	国連安保理非常任理事国選挙において、各国常駐代表を招聘することにより、日本に対する理解を得ることは、他の手段と比較して実効性の高い手段と考える。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		—			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	招へい者6名を一度に招へいすることにより、また、運営業務については、一般競争入札を実施することにより経費の節約に努める。					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	—	平成23年	—	平成24年	新25-12

個別事業名： 国連安保理非常任理事国選挙関係費

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)